

第Ⅲ章. 造成計画

1. 造成計画



第Ⅲ章. 造成計画

1. 造成計画

- (1) 造成計画の考え方
- (2) 造成横断図
- (3) 雨水排水計画の考え方
- (4) 雨水排水計画図



1. 造成計画

(1) 造成計画の考え方

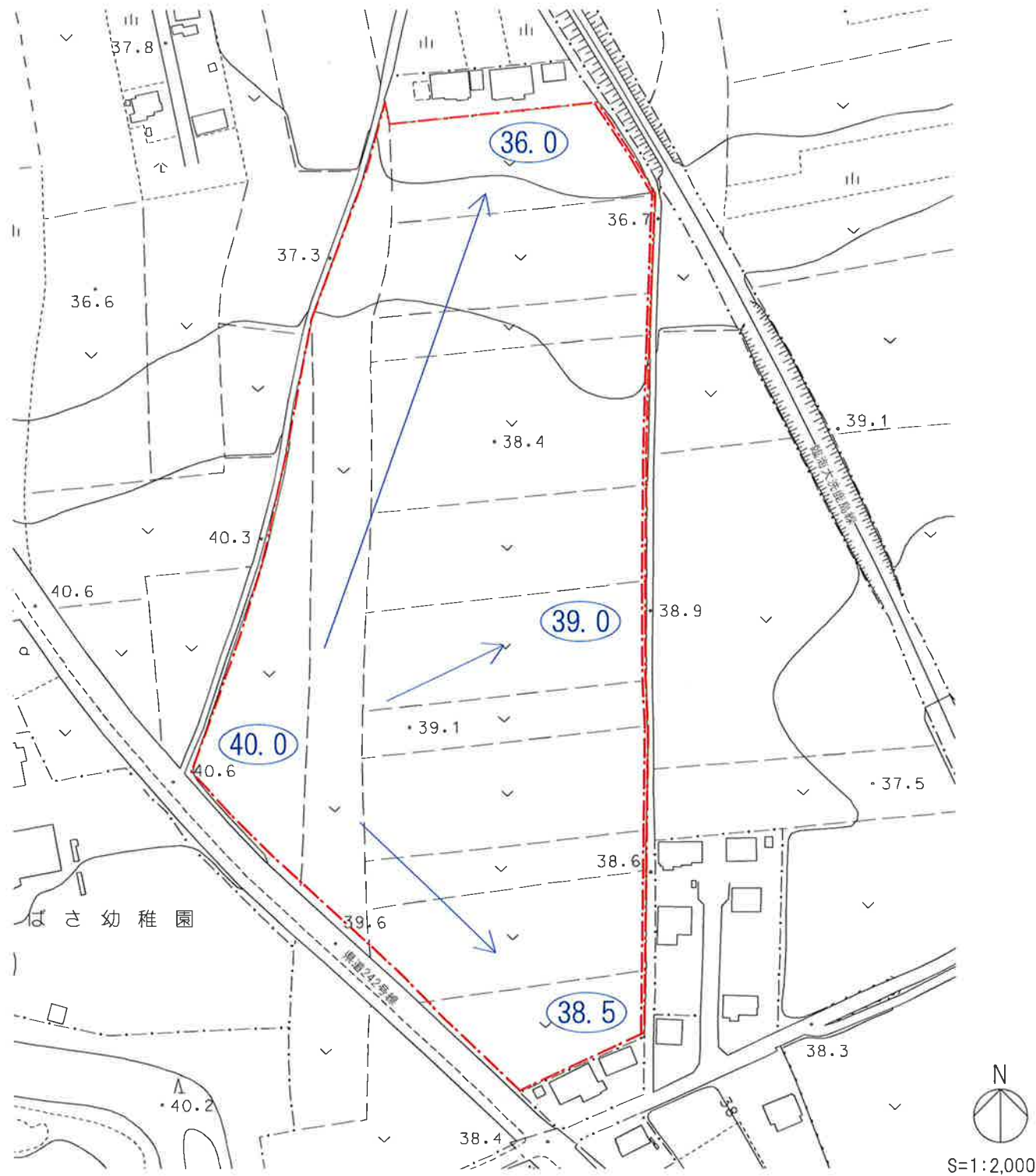
1) 敷地の現況

- ・ 敷地南西端のレベルは最も高く、標高40.0 m程度です。
- ・ 敷地南東端は県道242号線に沿って下って行き、標高38.5 m程度となります。
- ・ 敷地北端のレベルは最も低く、標高36.0 m程度です。

2) 敷地形状を活かした合理的な造成計画

a. 3つのレベル設定により造成を最小限に抑える

- ・ 県道242号線に近い敷地南側の部分を標高40.0 m程度に設定し、施設ゾーンとします。
- ・ 敷地中央部は標高38.0 m程度に設定し、運動場ゾーンとします。
- ・ 敷地北側は最も低い標高36.0 m程度に設定し、調整池を配置することで敷地内の雨水を効率よく集めます。

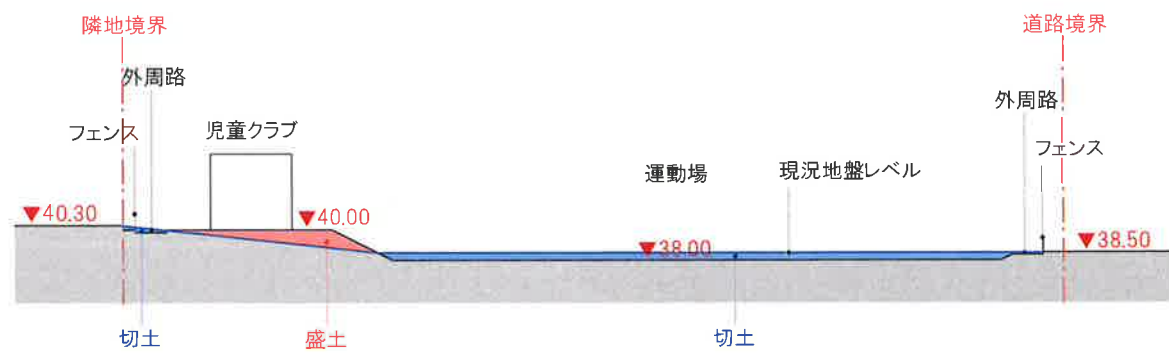


はさ幼稚園

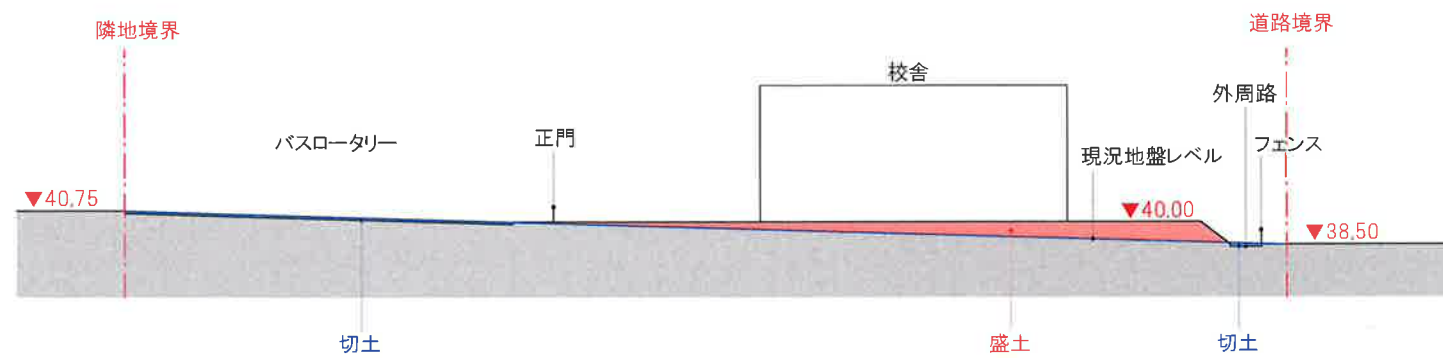
はさ幼稚園

(2) 造成横断面図

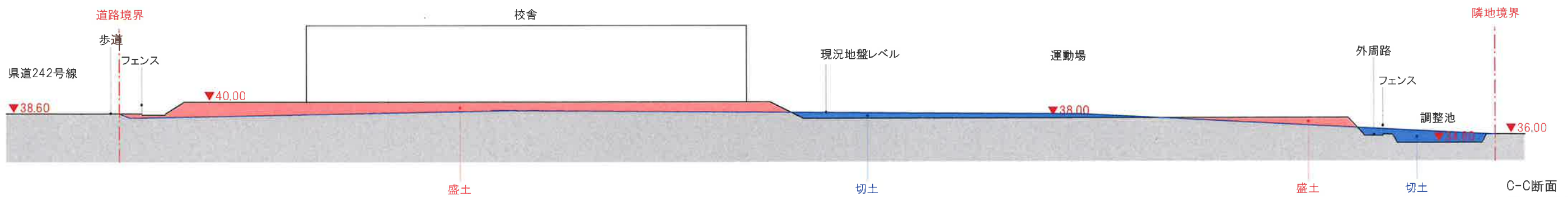
・ 造成横断面図は下図ようになります。敷地形状を活かして造成量を最小限に抑えます。



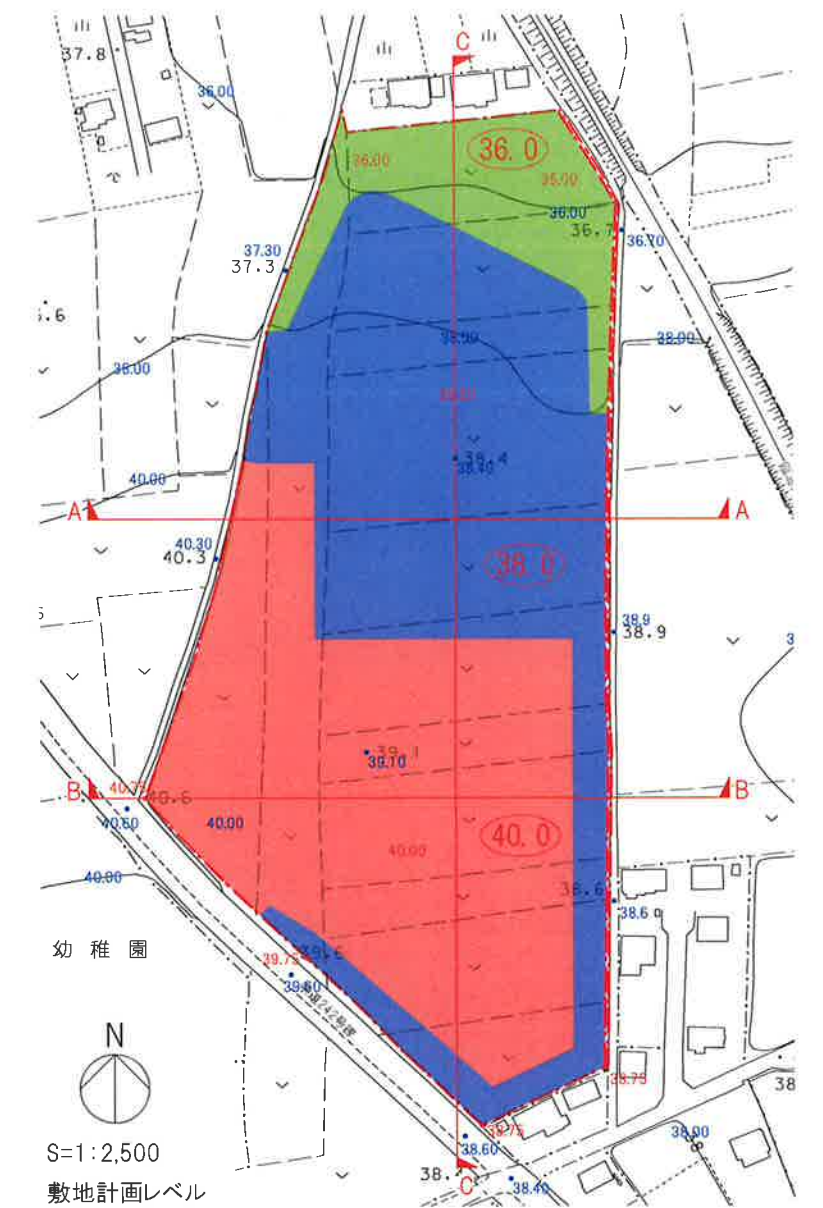
A-A断面
X方向 S=1:1,000
Z方向 S=1:500



B-B断面
X方向 S=1:1,000
Z方向 S=1:500



C-C断面
Y方向 S=1:1,000
Z方向 S=1:500



(3) 雨水排水計画の考え方

1) 流末排水路の流域

- ・ 大蔵工業団地の流末排水路の現況流域は右上図の通りです。
- ・ 計画地は全て現況流域に含まれます。

2) 流末排水路への接続の方法

- ・ 許容放流量を最小比流量 $2.743 \text{ m}^3/\text{s}/\text{km}^2$ に調整して、放流管を大蔵工業団地流末排水路へ接続します。
- ・ 放流管のルートは右下図の5通りのルートで検討します。

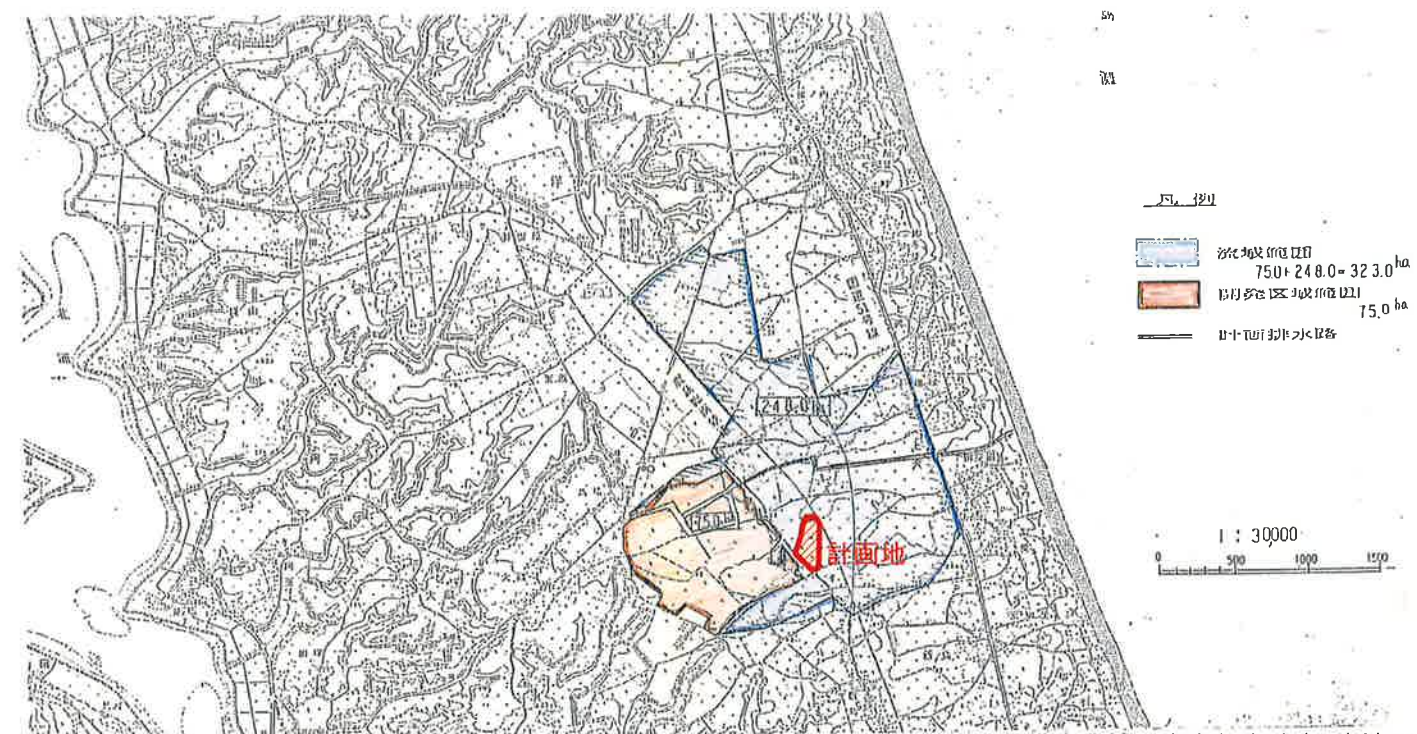


図1. 「大蔵工業団地排水路整備事業補助金交付申請書」流域図

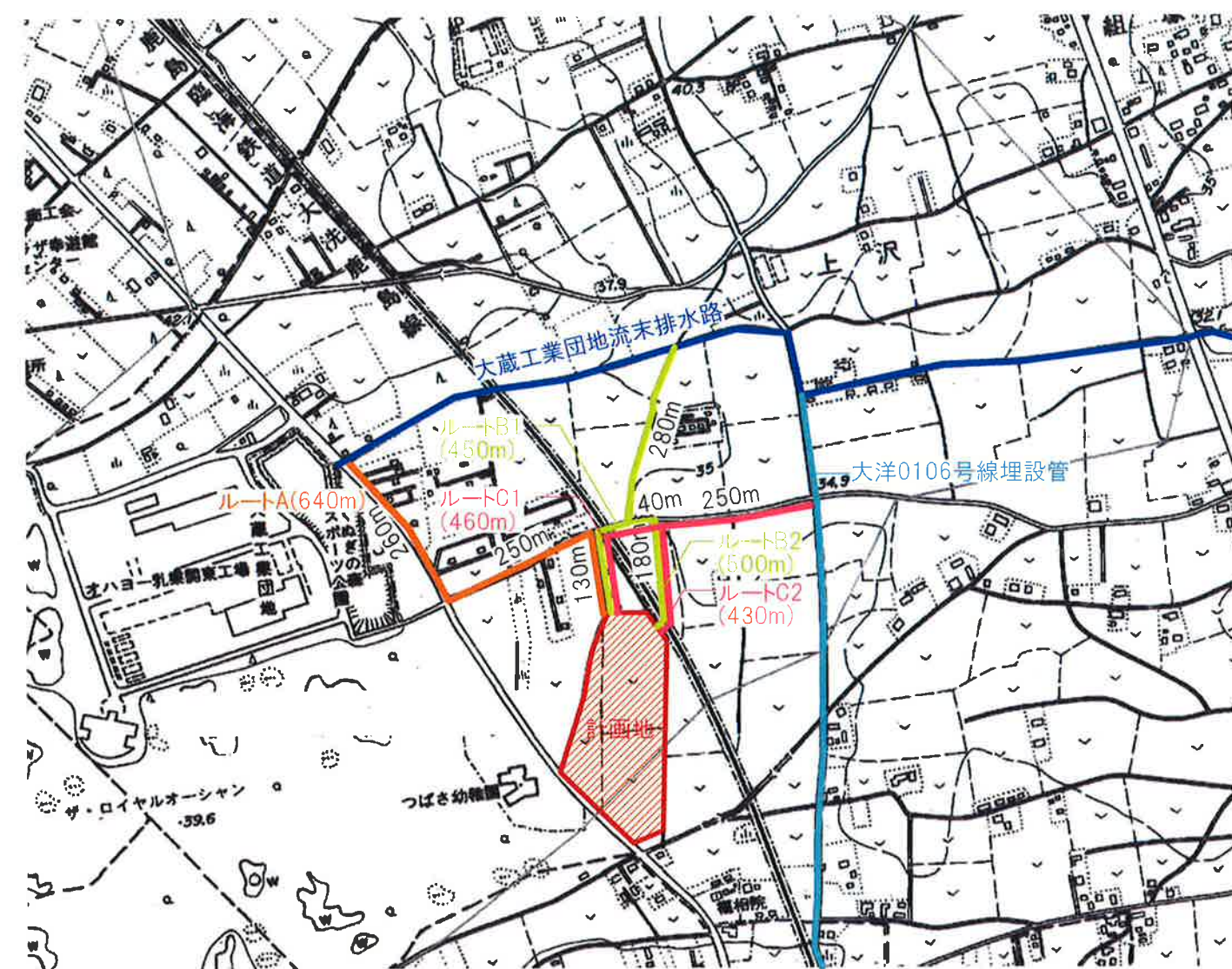


図2. 放流管のルート図

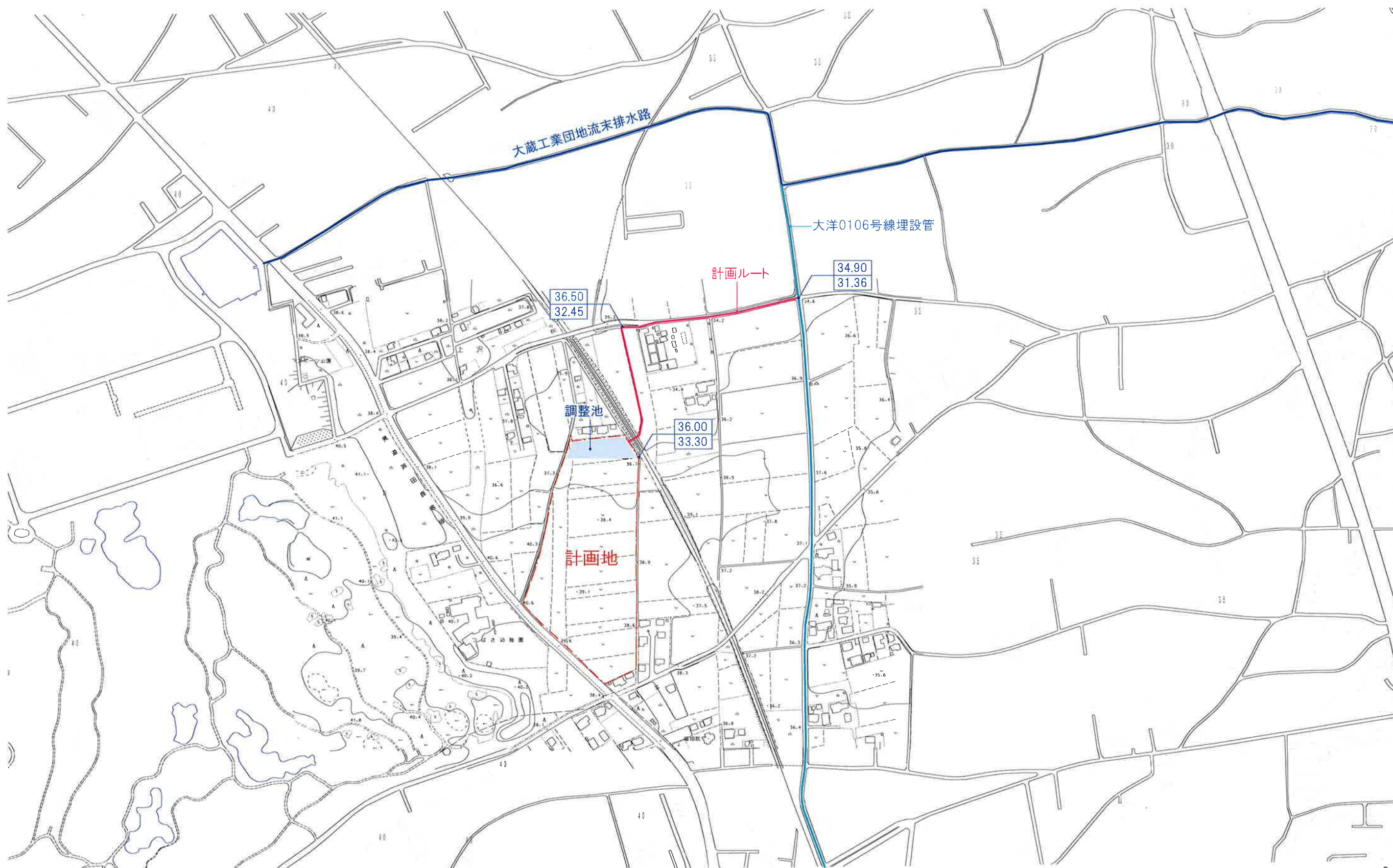
3) 放流管のルート

- ・ 放流管の5通りのルートの現況は以下の通り。



(4) 雨水排水計画図

本計画における排水ルートは下図のように計画します。



凡例
36.00 地盤レベル
33.30 放流管底レベル

N
S=1:5,000
雨水・排水計画図